

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本オペラ振興会
公演団体名	藤原歌劇団

内容
<p>ワークショップの児童、生徒の参加内容は下記の通りです。</p> <p>①歌唱クラス（学校の生徒役、参加人数10人～20人）</p> <p>②ダンスクラス（宇宙人グロポリンクス役、参加人数8人程度）</p> <p>①歌唱クラス 学校の生徒役は先生達と一緒にスクールバスの子ども達を助けに行くところで参加します。指揮者、ピアニストによる歌の練習の後、演出助手による演技の立ち稽古を実施します。子供たちの歌や演技がグロポリンクスを退治できるという気持ちを込めて練習します。</p> <p>②ダンスクラス 宇宙人グロポリンクス役は宇宙人の登場シーンで参加します。振り付けの先生に動きを付けてもらいながら、重要な演技を体得してゆきます。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>-全体2時間程度《参加箇所により変動します》-</p> <p>①準備／説明(全体)15分</p> <p>②-1 歌唱クラス：音楽稽古①[15分]→音楽稽古②[15分]→立ち稽古①[30分]→立ち稽古②[20分]</p> <p>②-2 ダンスクラス：振り付け稽古</p> <p>③成果発表会(合同練習)[15分]</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>最大6名 指揮者／振付指導者／演出助手／ピアニスト／制作職員2名 (各校の参加内容によって派遣者数変動します)</p>

学校における事前指導
<p>① 歌唱クラス参加：参加部分の暗譜が必要となります。</p> <p>② ダンスクラス参加：音源または動画による事前練習が必要となります。</p>

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 日本オペラ振興会
公演団体名	藤原歌劇団

<b>演目</b>
オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきた！」 全1幕 日本語上演 ジャン・カルロ・メノッティ 作曲

<b>派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください</b>
出演者 : 20名 スタッフ : 17名 合計 : 37名

<b>タイムスケジュール（標準）</b>					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9時	9時～12時	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時
仕込みに並行して10:30頃より60分程度、ワークショップで練習した場面の最終リハーサルを行います。					

<b>実施校への協力依頼人員</b>
荷物の搬入・搬出時に、12名程度のお手伝い（荷物の運搬）をお願いします。 条件により変わりますが、会場の体育館が2F以上の場合は特にご協力頂きたいです。

## 演目解説

タイトル：オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきた！」（全1幕日本語上演）

作曲：ジャン・カルロ・メノッティ（Gian Carlo Menotti）

～ものがたり～

春休みが終わり、スクールバスに乗って子どもたちが学校に向かっている。その途中、突然バスが故障して止まってしまう。そこへ、光るエイリアンがあらわれ、襲いかかってきた！運転手のトニーはバス警笛を鳴らしエイリアンを追っ払う。エイリアンが“アコースティックの音楽”に弱いことを知ったトニーは、子ども達に楽器を持っているか尋ねる。そんな中、一人だけヴァイオリンを持っていたエミリーは「私がゆくわ！」と学校へ助けを求めに向かう…。一方学校では、子ども達が来ない、と校長のストーン先生は心配でたまらない。音楽のユタポーバ先生は、子ども達が春休みに楽器を持って帰らなかったと、ストーン先生に嘆いている。そこへエイリアンが現れ校長先生が襲われてしまう。先生たちが楽器を鳴らし何とかエイリアンを撃退するが…。先生たちはそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子ども達を迎えに行く。さて、子ども達は、先生達は、エミリーは、一体どうになってしまうのでしょうか？

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

児童、生徒が舞台上で公演に参加できる場面を用意しました。

参加内容は下記の通りです。

- ・合唱①：学校の生徒役子ども達 10 人以内
- ・合唱②：全校生徒で校歌を歌って参加
- ・合唱③：学校の生徒役子ども達 10 人以内
  
- ・ダンス①：宇宙人役（宇宙人襲来）8 人
- ・ダンス②：宇宙人役（宇宙人喜びの踊り）8 人
- ・ダンス③：宇宙人役（エミリーと友達になりたい宇宙人）8 人

ワークショップにて、指揮者、ピアニストによる歌の練習、振り付けによるダンスの練習や動きの練習、演出助手による演技の稽古を実施します。本番では、キャストと一緒に出演して頂きます。

## 児童生徒とのふれあい

公演終了後に代表の児童生徒との交流会の場を設けおります。この物語について感想を述べあったり、普段あまり接する機会のないオペラ歌手、指揮者といった方々との質問交換なども行います。また、舞台の設営、撤去作業の際、安全に考慮しつつ、児童生徒に見学してもらい、舞台がどのように出来ているかなどについて説明を行います。